



大阪市立水都国際中学校

学校説明会

FOR FUTURE GLOBAL INNOVATORS

指定管理法人 学校法人 大阪YMCA

School Vision 教育目標

Cultivate students' ability to collaborate and creatively contribute to the world.

社会に貢献する協創力をみかく



School Philosophy 学校理念

Encourage

Suito Kokusai supports students and teachers to have the courage to try new things and the discipline to keep trying. Suito Kokusai encourages both failure and success because both contribute importantly to improvement and lifelong learning.

水都国際中学校・高等学校は、生徒や教員が新しいことに挑戦し続けられるようサポートします。自分自身を成長させ、生涯を通して学び続ける素地を養うために、失敗も成功も奨励します。

School Philosophy 学校理念

Engage

Through interesting, active, student-centered programs that are appropriately challenging, Suito Kokusai students achieve both academic expertise and international competencies.

生徒の興味関心を惹き、生徒自身が中心となって主体的に関わることができる、充実した創造的なプログラムを通して、水都国際中学校・高等学校の生徒は、学術的な専門性と国際社会で活躍できる資質・能力を獲得します。

School Philosophy 学校理念

Empower

Suito Kokusai students learn how to think critically, make decisions and collaborate in teams. Suito Kokusai students and teachers care about the world and are confident in global settings.

水都国際中学校・高等学校の生徒は、様々な事象を批判的に思考する方法、意思決定をする方法、チームで協働する方法を学びます。生徒と教員は世界に目を向け、グローバルな環境下で自信を持って行動します。



学校の特徴（中高共通）

- 英語の授業を多く行うなど、**英語教育**に重点を置いた教育活動を行います。
- 自国の伝統や文化に根ざした**国際理解教育**に重点を置いた教育活動を行います。
- 自ら課題を発見し、解決することを目的とした**課題探究型授業**を多く展開し、生徒の主体的に学ぶ力や豊かな知性の育成をめざします。
- 国家戦略特別区域法における学校教育法の特例を活用した**公設民営**の手法による学校です。



大阪市立の公立学校

大阪市（設置者）



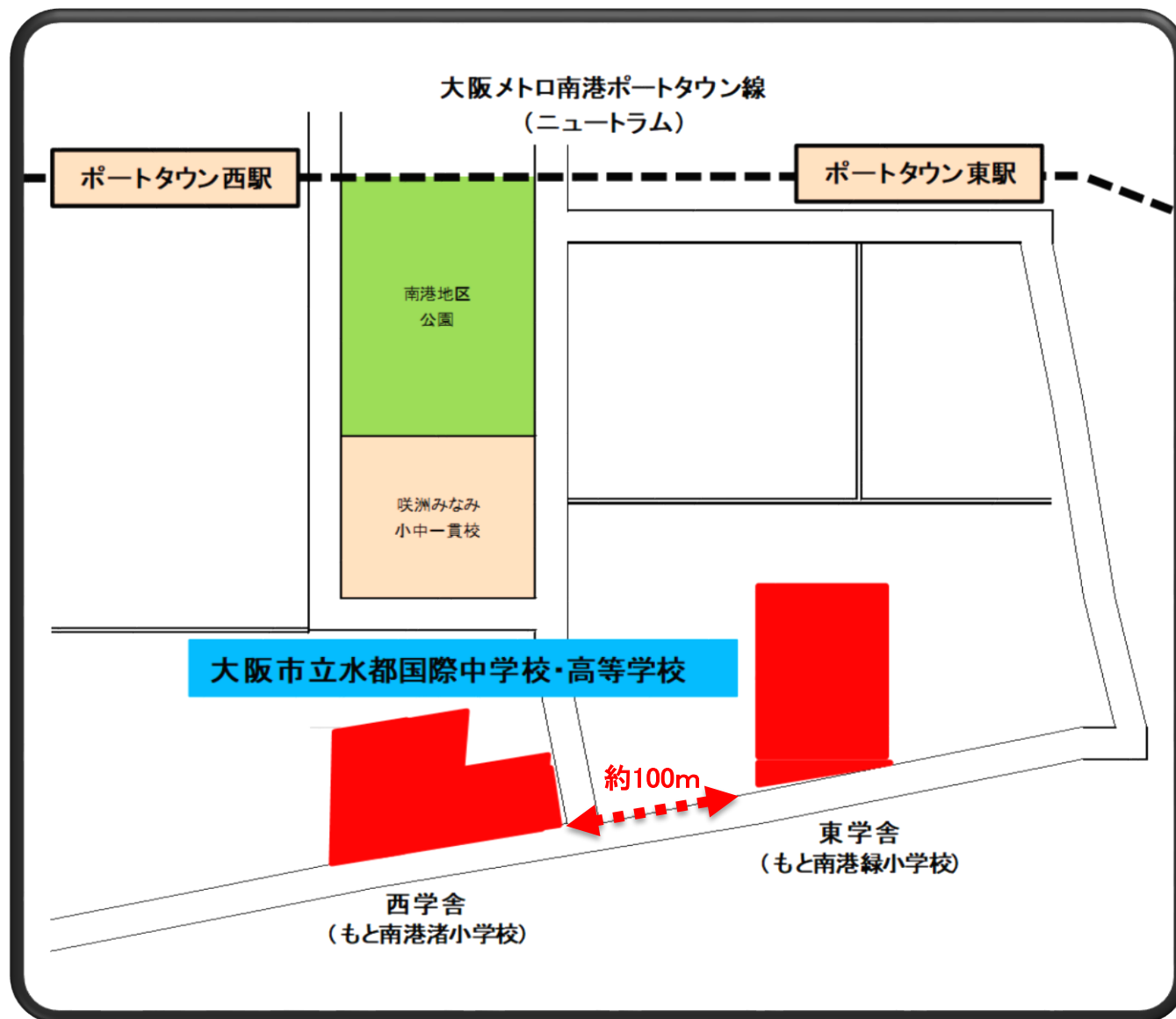
学校法人 大阪YMCA
（指定管理人）

管理・運営

公立学校としての教育水準及び公共性を保ちながら、民間の知見を活用した学校運営を行います。

学校周辺地図(中高共通)

(西学舎)大阪市住之江区南港中3丁目7番13号 (東学舎)大阪市住之江区南港中2丁目7番18号



2023年度 最終完成イメージ(中高共通)

※現時点でのイメージ図であり、今後変更となる可能性があります



西学舎(増築棟)
(普通教室・体育館・プール)

西学舎(既存棟)
(特別教室)

東学舎
(グラウンド)

中学校の特徴

どっぷり英語につかる学習環境

校内では、英語が飛び交います

サポート体制

英語指導助手(EAL)による**十分なサポート体制**

英語による授業 (イマージョン授業)

英語・数学・理科などにおいて
週**14～15時間の英語**による授業

週33時間授業

標準に比べ週あたり
プラス4時間の授業

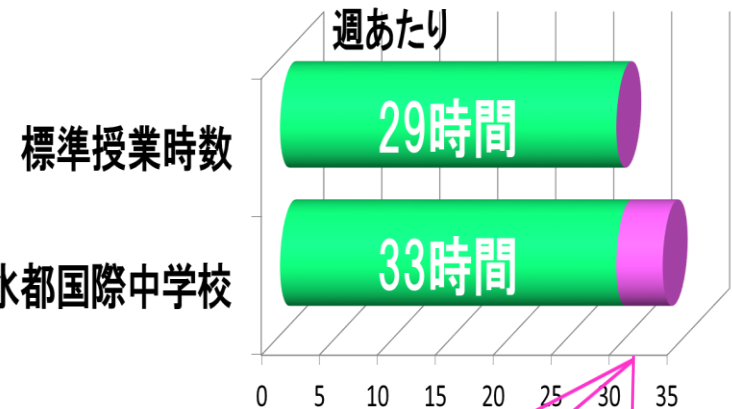
先取り学習

高等学校の授業内容を
先取り学習

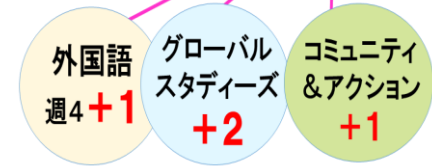
教育課程(中学校)

○印は英語で実施する授業

区分	第1学年		第2学年		第3学年	
	年間 時数	標準 時数	年間 時数	標準 時数	年間 時数	標準 時数
国語	140	140	140	140	105	105
社会	105	105	105	105	140	140
○数学	140	140	105	105	140	140
○理科	105	105	140	140	140	140
音楽	45	45	35	35	35	35
美術	45	45	35	35	35	35
保健体育	105	105	105	105	105	105
技術家庭	70	70	70	70	35	35
○外国語 (英語)	175	140	175	140	175	140
○グローバル・ス タディーズ (国際理解)	70	0	70	0	70	0
コミュニティ &アクション	35	0	35	0	35	0
道徳	35	35	35	35	35	35
総合的な学習 の時間	50	50	70	70	70	70
特別活動	35	35	35	35	35	35
総授業時間	1155	1015	1155	1015	1155	1015



週あたり
+4時間



☆ 中学校1年生の時間割の例

	月	火	水	木	金
1	国	数	国	英	理
2	数	国	社	理	美
3	社	体	数	体	英
4	英	社	英	数	体
5	理	技	特	国	総
6	道	家	グ	音	総
7	グ	英		コ	

グ…グローバルスタディーズ(国際理解) コ…コミュニティ&アクション

週33時間中、14時間の授業で英語による授業を実施(予定)

Global Action Project in Suito (GAPS)

「みつける、つなげる、つくっていく」 というコンセプトの下、
すべての課外活動を『Global Action Project in Suito (GAPS)』の一環と捉え、
生徒たちの主体的学びを支援

自ら考え、 実現し、 振り返るスキルを養う

たとえば・・・

第二言語研究(例:英語、韓国・朝鮮語、中国語など)

日本文化研究

地域創生

ボランティア

スポーツ

など

水都国際中学校の1日

登校

8:20ごろ 登校

午前 授業

- ・英語、数学、理科などにおいて、英語による授業
- ・課題探究型授業を多く展開します。

昼食*

・月、火、木、金曜日は、
6時間目後25分の
グローバル・スタディーズの授業

* 昼食：自校調理方式の給食を実施

午後 授業

- ・水曜日は7時間授業

課外 活動

GAPS (Global Action Project in Suito)
自ら考え、実現し、振り返るスキルを養います。
(活動例：言語研究、スポーツ、芸術活動など)

年間行事予定(入学年度)(中学校)

4月	入学式	10月	中間試験
	オリエンテーション	11月	
5月	中間試験	12月	期末試験
6月	体育祭		終業式
7月	期末試験	1月	始業式
	終業式	2月	1年 チャレンジテスト
	海外語学研修(任意)		アカデミックフェア (日頃の学習成果を英語で発表)
8月	始業式	3月	学年末試験
9月	文化祭		修了式

国際交流プログラム(中学校)

海外語学研修(任意)

長期休業中に実施予定

YMCAグローバルプログラムに参加可能

海外の学生を交えた国際交流活動

海外からのインターンシップ生との協働

提携インターナショナルスクールとの交流 など



入学初年度の経費等(中学校)

学費

**水都国際中学校
授業料は無償**



**制服代、教材費、PTA会費、
研修旅行積立金など**

(海外語学研修(任意)等の参加費は別途必要)

初年度の必要経費(目安) 約17万円

単位: ¥

授業料	0
制服代	45,600
給食費	60,000
学校徴収金*	60,000

研修旅行(国内) 3日間程度

* 研修旅行積立金、PTA会費、生徒会費、学年費、実習費、教材費、オンライン教材、メールシステム等

グローバル探究科(高等学校)

将来、国際的な舞台で活躍するための、実践的なコミュニケーション能力や英語運用能力を習得するとともに、自ら課題を特定し、原因と解決方法を探究・確立するための論理的思考力の素地を養います。

高1	必履修科目を中心に全員が共通履修			2020年度開設予定
高2	グローバル コミュニケーションコース	グローバル サイエンスコース	国際バカロレア コース	
高3				

2年次より、個人の興味、関心、進路目標等に応じて
3つのコース別に履修します。

卒業時のめざすべき英語運用能力

CEFR B2レベル(TOEFL iBT 72-94、英検準1級等)

IB認定のプロセス

2018年9月
正式候補校になりました。

2020年4月からのスタートをめざしています

国際バカロレアの導入に際しては、申請から認定までに、関心校、候補校、認定校の段階があり、各段階には明確に区別された申請項目とタイムラインがあります。IBO認定校をめざすすべての学校はこの各段階を経る必要があり、IBOが認定の可否に関する裁量を有しています。

候補校申請の提出

関心校

候補校になる

コンサルテーション訪問

候補校

認定校申請書の提出

確認訪問

認定校になる

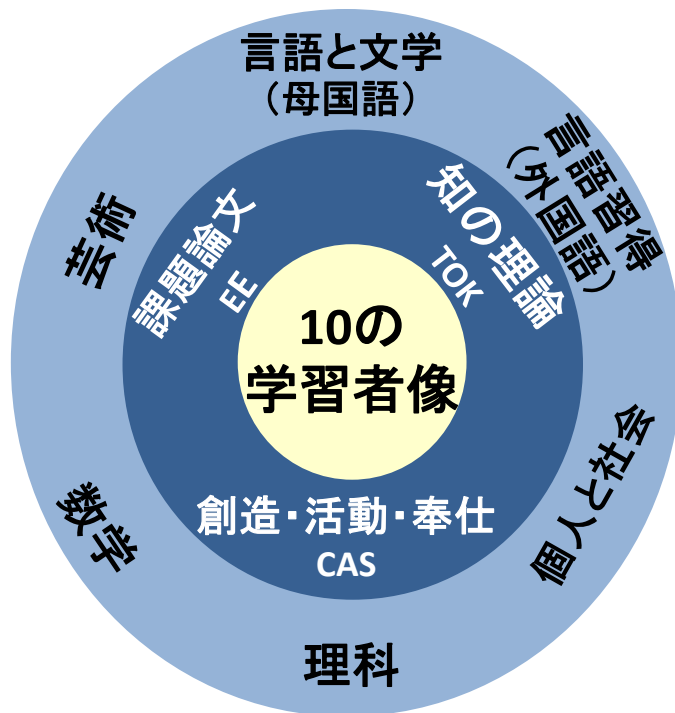
認定校

DP(ディプロマプログラム)授業開始
国際バカロレアコース開設

IB認定後のさらなる特徴(高等学校)

- 国際バカロレアDP(ディプロマプログラム)の「英語」を**全員が履修**するとともに、国際バカロレアコース以外の生徒も**国際バカロレアの一部の科目が選択可能**
- 国際バカロレアDP(ディプロマプログラム)のコア科目である「**TOK**」「**Extended Essay**」「**CAS**」を全員が履修(CASは課外活動として実施)
 - 「TOK」では、知識とは何か、という問いに対して深く考えていきます。
 - 「Extended Essay」では、自分のテーマを見つけ、探究し、論文を作成します。
 - 「CAS」では、社会体験を通して自分自身を成長させていきます。

国際バカロレアDP(ディプロマプログラム)の概要



- ◆ 3つの必修要件(コア科目)と6つのグループより各1科目を2年間で履修します
- ◆ コア3科目全てと6科目中4科目において日本語での授業、試験の実施が可能
(デュアルランゲージDP)

国際バカロレア(IB)資格の取得

DP科目を全て履修し、最終試験(高3の11月頃)で所定の成績を収めると、国際的に認められる大学入学資格が取得できます

グローバル探究科(高等学校)

高1	必修科目を中心に全員が共通履修		
高2	グローバル コミュニケーションコース	グローバル サイエンスコース	国際バカロレア コース 2020年度開設を目指して います。
高3			

2年次より、個人の興味、関心、進路目標等に応じて3つのコース別に履修します。

卒業時のめざすべき英語運用能力

CEFR B2レベル(TOEFL iBT 72-94、英検準1級等)

進学

国内大学 ・ 海外大学 ・ 各種学校など

ありがとうございました

学 校HP

<http://osaka-city-ib.jp/>